

# 二子玉川地区水辺地域づくりワーキング

ニュースレター 第6号 2021. 2. 26

発行：国土交通省京浜河川事務所 世田谷区

令和2年9月26日(土)に、第6回二子玉川地区水辺地域づくりワーキングを開催しました。

- 地域住民や二子玉川地区で活動されているみなさまを対象に、玉川区民会館において、第6回二子玉川地区水辺地域づくりワーキングを開催しました。
- 今回は、説明会形式で今までの課題の振り返りや今後のワーキング開催方法などについて、事務局より説明し、ご意見を出していただきました。
- 第6回水辺地域づくりワーキングには、22名の方にご参加いただきました。
- 次回以降のワーキング開催方法は、新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえて検討します。

## ワーキングのながれ

### 【第1～5回】

堤防の高さを確保することを目的にした案をお示しさせて頂き、参加者で討議し、対応案をお示しました。

### 【第6回】

令和元年東日本台風、二子玉川地区の堤防整備、今までの課題の振り返り、今後のワーキングの開催方法等を説明しご意見をいただきました。

### 【第7回以降】

兵庫橋撤去後の代替機能、樹木の植樹及び移植、天端の通行について提案します。

## 第6回ワーキングの概要

ワーキングは以下のプログラムで進行しました。

### 1. 事務局による資料説明

資料を用いて、「令和元年東日本台風(令和元年台風第19号)」、「二子玉川地区の堤防整備について」、「今までのワーキングを受けて課題の振り返り」、「今後のワーキング開催方法について」の4つの内容を説明しました。

### 2. 質疑応答(東京都市大学：末政教授、五艘准教授、多自然川づくり専門家：吉村伸一先生)

説明資料に基づき、今までのワーキングを受けて課題の振り返りとして「兵庫橋関連」、「樹木関連」、「動線関係」、「今後のワーキング開催方法」について、ご意見を頂きました。

### 3. 全体とりまとめ(東京都市大学：末政教授、五艘准教授)

頂いたご意見について、コーディネーターのお二人にとりまとめて頂きました。

## ～ワーキングの様子～



とりまとめたご意見は、次のページに整理しました。

### 【今後の予定】

次回のワーキングは、今回のワーキング等で出たご意見に対する対応を提案します。開催に当たっては、開催案内にて事前にお知らせします。

### 【お問い合わせ先】

国土交通省京浜河川事務所 調査課  
TEL:045-503-4008  
FAX:045-503-4058

◆このニュースレターとワーキングの配布資料は以下のホームページからもご覧いただけます◆

【国土交通省京浜河川事務所】

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01026.html>

【世田谷区】

<https://www.city.setagaya.lg.jp/tamagawa/001/006/d00158442.html>

## 第6回ワーキングで頂いたご意見 (1/3)

第6回ワーキングで頂いたご意見は以下の通りです。

### <兵庫橋関連>

- 質問：これまで兵庫橋を残してほしいと述べてきた。記念碑や飛び石の説明がされているが、できれば人道橋でもいいので橋の形がいいと思う。橋から見る鳥の観察も教育上重要である。  
→ 回答：兵庫橋については堤防整備の為に撤去が前提とさせていただいているところ。いろいろな可能性を考えている。引き続き議論を続けたい。
- 質問：上記と同意見である。小学校における野鳥の観察会が行われるなど、兵庫島は素晴らしい景観となっている。橋から上下流がよく見え、樹林帯、兵庫島も見える。また、工事中の動線について確認したい。  
→ 回答：令和2年11月からの工事では、兵庫橋が工事エリアに含まれる。11月にいきなり止めることはとはないが、工事の進捗に応じて兵庫橋は通ることができなくなる。代替の動線は確保する。10月の工事説明会で詳細は工事業者も入って説明する予定である。  
(工事説明会資料はこちらで確認できます <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01041.html>)
- 意見：兵庫橋は野川にかかっている橋であり、どの程度影響するのか。撤去する必要はないのでは。  
→ 回答：堤防整備を行うにあたり、橋台を撤去しないと工事ができないので撤去する前提とさせていただいているところ。
- 質問：野川・多摩川合流点で流れを阻害するので兵庫橋は撤去してほしい。  
→ 回答：兵庫橋については堤防整備の為に撤去が前提とさせていただいているところ。撤去後、下流側に新たな橋を作る予定である。
- 質問：昨年、無堤防区間が溢水し被害を受けたが、従来から置かれていた大型土嚢を緊急時には使うものと理解していた。しかし、実際には小さい土嚢が置かれていて、水が上がってきてしまった。今年度溢水しそうな時、どこに連絡すればいいのかお聞きしたい。  
→ 回答：無堤防箇所の溢水対策として、玉川一丁目河川広場に多摩川専用の土嚢等の倉庫を設置している。現在も多摩川の水位は区でも把握しており、必要に応じて世田谷区が土嚢積み等を行う。
- 意見：橋台が（野川の）流況阻害となるため、撤去は賛成である。
- 質問：本地区の上流側、下流側は河道掘削を行うことになっている。以前より川底が上がっている印象だが、本地区においても浚渫を検討したことはないのか。  
→ 回答：河道掘削について、資料12ページに示す通りである。当該箇所は掘削の予定はないが、土砂が堆積しているような情報もあり、河道の状況を継続的に把握しつつ、必要に応じて行うことを考えている。

## 第6回ワーキングで頂いたご意見 (2/3)

- 質問：下流側の暫定堤防を越えたら玉川一丁目がどうなるか心配である。樹木の伐採もされていない。暫定堤防で川幅が狭まったので掘削をお願いしたい。細かく点検して地元の声を聴いていただきたい。また、今回は本堤防であるか、確認したい。また、下流側の本堤防化についても考えてほしい。
- 回答：今回の令和6年度までのプロジェクトで堤防整備する範囲は本堤防（土堤で計画堤防高まで築堤）である。一部、特殊堤の箇所はあるが、高さは計画堤防高まで整備する。橋梁があり、施工できない箇所は計画高水位までの高さとなる。

### <樹木関連>

- 質問：トウネズミモチが外来種ということであるが、野鳥の食糧源にもなっているため、伐採の可否を考えてもらいたい。兵庫島の池脇の樹木がいきなり伐採されていたので、ルール化してほしい。
- 回答：樹木調査の結果を後日紹介し、このワーキングにて残置・伐採について引き続き議論したい。
- 質問：樹木管理は誰が行うのか。
- 回答：このワーキングの中で枠組み自体について引き続き議論したい。
- 質問：工事の必要上、伐採しなければならない樹木以外のものをどう残すかについて、様々な要望が出されているが、科学的な裏付けを持った議論がされていないと感じる。兵庫橋の流況阻害の問題についても同様である。科学的な判断の根拠を出してもらいたい。
- 回答：伐採等について、専門家の知識を入れるなどの方向で進める。数値について、示せるものは次回以降示していきたい。

### <動線関連>

- 質問：久地陸開の閉鎖について、タイムスケジュールを確認したい。
- 回答：動線についての合意形成ができた段階で予算要求を行い、予算確保ができた段階で工事になる。現時点では具体的な時期は確定できない。引き続きワーキングで議論したい。
- 質問：玉川3丁目の商業施設への動線について、樹木伐採後の動線をどうするのか。また、河道掘削を先行すれば樹木を維持することはできるのではないか。
- 回答：堤防を高くしない限り安全が確保できないところもある。堤防を作るために樹木を伐採せざるを得ない箇所が出てくる。
- 意見：高水敷を削れば、水位が下がるのではないか。
- 意見：水位をできるだけ上げない工夫が必要である。堰の運用にも課題があるのではないか。科学的な分析に基づく対策を求める。

## 第6回ワーキングで頂いたご意見 (3/3)

### <今後のワーキング開催について>

- 質問：本日ワーキングには応募者のうち何人参加できたのか。  
→ 回答：期限内の応募者は全員参加できた。期限後の追加希望は会場の都合でお断りした。
- 意見：Web や書面確認では討議にならないので、班別に討議できるような大きな会場を確保できるようにしてほしい。
- 意見：周知が不十分と感じる。多くの世代に伝わる告知をしてほしい。Zoom 等の併用も検討してほしい。

### <その他>

- 質問：昨年の被害は内水氾濫が主体だったが、内水氾濫防止についてはほとんど触れられていない。  
→ 回答：世田谷区により、上野毛・野毛地区、玉堤地区を対象に、現在、検証作業が進められている。
- 質問：野鳥観察会は年度計画で動いている。集合場所・観察ルートを早く決める必要があり、施工段階においてどこが使えるのか、事前に知っておきたい。  
→ 回答：10月中旬の工事説明会にてお知らせする予定である。  
(工事説明会資料はこちらで確認できます <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01041.html>)  
(また、現在の工事情報についてこちらで確認できます <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00283.html>)
- 意見：堤防天端の通行を原則閉鎖するか議論も科学的データに基づいて行うべきである。
- 質問：(令和元年台風第19号に伴う浸水被害への区の見取りに関する)住民説明会でも河道掘削の話題が出た。なぜ玉川地区で河道掘削が行われないのかについての明確な説明が行われていないのではないか。堤防整備が優先されるということか。  
→ 回答：資料12ページに示す河道掘削を行う箇所は、水位が計画高水位を上回った箇所である。昨年の台風では玉川地区において、計画高水位以下で水が流れた痕跡を確認している。当該地区では堤防がない区間において、計画高水位以下で水が流れたが溢水したため、堤防整備が優先されることになっている。
- 質問：下流における河道掘削を行うことで本地区ではどのくらい水位が下がるのか。  
→ 回答：水位低下量は、水位観測所で算定しており、京浜河川事務所HPで公表しております。

<動線関連>

● 質問：久地陸閘は閉鎖以外の検討は無いのか？今回もそこからは浸水してないのだから、可動式等の検討は無いのか？また大きなトラック等が久地陸こうにバックしてそこを曲がっている事が多い。

→ 回答：多摩川水系河川整備計画においても久地陸閘は廃止することとなっている。久地陸閘の閉鎖を含めた動線については、引き続きワーキングで議論したい。

● 質問：現在の動線のところで野川渡河橋梁の公園側から兵庫島方面にラインが有るが現在は鎌田方面にしか道は無いが反対にも降りれる様にする計画ですか？

→ 回答：野川渡河橋梁右岸側から兵庫島方面に降りられる坂路を設置する予定である。

<その他>

● 質問：作業用道路を使って兵庫島に渡る事は出来るのか？

→ 回答：作業用道路（工所用道路）は、工事関係者のみで一般通行はできません。ただし、堤防工事期間中、工程によりルートは異なるが、兵庫島へのアクセスルートを確保する予定です。

● 質問：第6回のワーキングの資料を拝見しました。11 ページ目及び 15 ページ目の図でわかりにくいのですが、グランスイート二子玉川の前に建設することが予定されている堤防の高さ、マンションからの距離についてわかるような資料はありますか？13 ページ目の資料のようにマンション名が入った拡大図等ありましたら、それについてもお示しいただけますと幸いです。

→ 回答：マンション前面の道路からの天端までの高さは約 2m です。  
マンションから堤防の擁壁までの距離は約 10m です。

